

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

10月も残りわずかとなり、はやいもので来週はもう11月となります。そして、2026 年も残すところ 2 か月となります。

さて、27 日(火)には、文化祭・合唱コンクールを無事に開催することができました。3 年生にとっては、最後の文化祭・合唱コンクールとなり、思い出に残る 1 日になったと思います。そして、文化祭が終わったらいよいよ、自分の進路に向けて「決定」していく時期になってきました。分からないことや心配なこと、不安に思うことがあれば、ぜひ、担任の先生含め、大人に相談してアドバイスをもらってください。そのうえで、自らの進路は、自ら決定し、切り拓いていくことが大切です。



校区拡大学校運営協議会を開催しました

10月15日(木)天栄中校区拡大学校運営協議会を開催しました。

今回の協議会では、鈴鹿市小中学校での生成 AI 活用に関する取組について指導主事をお招きして、実演も交えながらご講演いただきました。また、天栄中学校区の今後について、現状認識等について、教育政策課、学校教育課から校区学校運営協議会各委員のみなさまに説明をしていただきました。

なお、天栄中学校区におけるのこれまでの取組については、鈴鹿市のホームページに掲載されています。参考に URL をお知らせします。

<鈴鹿市ホームページ>

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kyoiku/1003079/1003111/1012197/index.html>



あいさつを交わしてつながりを感じよう

本校では、毎週水曜日に生徒会執行部のみなさんがあいさつ運動を行っています。10 月からは、後期執行部役員が行っています。1、2 年生のみですが、市道まで聞こえてくる「おはようございます」という元気な声で、全校生徒に向けてあいさつを交わしてくれています。

生徒同士、先生と生徒に関わらず、自分から笑顔であいさつを交わすことで、前向きに気持ちよく学校生活を送ることができます。

そして、あいさつをすることでお互いの距離が縮まるとともにつながりを感じることができると思っています。また、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」などのあいさつは、お互いの気持ちを前向きにさせる魔法の言葉だと思っています。自分からあいさつをすることは、恥ずかしいという人もいるかもしれませんが、少しの勇気を出して、お互いに笑顔であいさつを交わしてみましょう。また、各ご家庭におかれましても、保護者の方から率先してお子様に対して「おはよう」や「おやすみ」、「ありがとう」のお声がけをいただければ幸いです。



各クラスの合唱に感動！

27 日(火)に開催された文化祭では、吹奏楽部の演奏に始まり、人権作文発表、合唱コンクール、有志発表を行いました。

また、美術部やコンピュータ部、理科や家庭科、特別支援学級の作品展示もありました。

各学年の合唱コンクールでは、9 月末から練習を積み重ねる中で、クラスの一人ひとりの想いを一杯詰め込んだ一体感のある合唱を披露しました。コンクールのため順位はつきましたが、どの学年も聴きごたえのある合唱に仕上がっていたと思います。

3 年生にとっては、中学校生活最後の文化祭となりましたが、中学校でのいい思い出が、さらに一つ加わったことと思います。みなさんが披露した様々なパフォーマンスを見て、改めて「何かに無心に打ち込むっていいなあ～」と思いました。

後期生徒会執行部の役員のみなさんは、初の大きな行事の運営となりましたが、前日まで準備をしっかりと行い、当日はスムーズな進行を行ってくれました。本当にお疲れさまでした。

プログラム

- 1 開会式
- 2 吹奏楽部発表
- 3 人権作文発表
- 4 合唱コンクール開会式
- 5 1 年生
- 6 2 年生
- ～給食・休憩～
- 7 3 年生
- 8 有志発表
- 9 合唱コンクール結果発表
- 10 閉会式



保護者のみなさまには、該当学年等のみの観覧となりましたが、生徒たちの創り上げた合唱を含め、日ごろの成果をお聴きいただくとともに、鑑賞いただけたこと大変うれしく思っています。本当にありがとうございました。

また、受付やグラウンドでの駐車場係等、PTA の方々に運営のお手伝いをいただき、重ねてお礼申し上げます。





本館では、美術部の作品やコンピュータ部のエネワン出場車両やロボットコンテストに出場したロボットの展示、家庭科の授業で作成した、部屋の平面図や夏休みの課題のレシピ集、夏休みの自由研究、特別支援学級の授業で作った作品の展示を行いました。どの作品も力作ぞろいで見ごたえがありました。





お話聞かせて.....

本校では、2 学期の文化祭終了後のこの時期に、教育相談期間を設けています。

今年は、10 月 28 日(水)から 11 月 16 日(月)までの期間実施する予定です。

生徒たちは日々学校生活を送る中で、様々な悩みや不安を抱えています。誰かに話をすることで、こころがスッと落ち着くこともあるかと思います。

特に 3 年生にとっては、12 月の保護者会に向けて、受験校の決定など、自分の進路を自分で決めていかなければいけない時期となりました。はじめての経験であるからこそ、わからないことや心配事、不安な気持ちが出てくることも当然あると思います。そして 1、2 年生でも、学校での友だちとのかかわり方や勉強のこと、自分のことなど悩みや不安を抱えていることもあるかと思います。



この期間に、担任等の先生や自分に関わる大人に、自分の中にため込んでいた悩みを吐き出すことで、たとえ解決策が見つからなくとも、自分の気持ちがすっきりし、安心できるかもしれません。また、自分の悩みや心配などを頭の中で整理できるとともに、相談していく中でいい解決策が見つかったりするかもしれません。まずは、身近な大人に自分の思っていることを話してみてください。

11月は、いじめ防止強化月間です

三重県では、学校の中や外のどこでもいじめが行われないことをめざす「三重県いじめ防止条例」を平成 30 年 4 月から実施しています。この条例では、特に 4 月と 11 月をピンクシャツ運動等のいじめ防止、いじめ撲滅の取組を集中して行う、いじめ防止強化月間と定めています。

このことに倣って、鈴鹿市でも 4 月と 11 月をいじめ防止強化月間と定め、取組を進めています。本校でも、11 月にはいじめ防止のための取組を行います。取組の様子は学校だよりでお伝えします。

ピンクシャツ運動とは

ピンクシャツ運動とは、2007年にカナダで誕生した「いじめ反対運動」です。カナダで、中学 3 年生の男子生徒がピンクのボロシャツを着て登校し、いじめられました。それを知った高校 3 年生男子 2 人がその日の内にピンクのシャツなどを大量に購入し、メールや掲示板で友人知人などに翌日に着用することを呼びかけました。翌朝、2 人はシャツなどを呼びかけた人に配って着てもらいましたが、この日に呼びかけ以上の学生がピンクの服で登校し、学校がピンク色に染まり、男子生徒へのいじめがなくなりました。以降、毎年 2 月最終水曜が学校や職場にピンクのものを身につけて行くピンクシャツデーとしてカナダ全土に定着し、アメリカ、イギリスなど世界各国へ広まりました。この運動は、「いじめ反対」のメッセージとともに、いじめの問題を個人や当事者間だけの問題ではなく、社会全体の問題と捉え、いじめの定義や、傍観者になることなどを含め、いろいろないじめの問題について考える機会となっています。

<出典> 三重県 HP より <https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0045700068.htm>